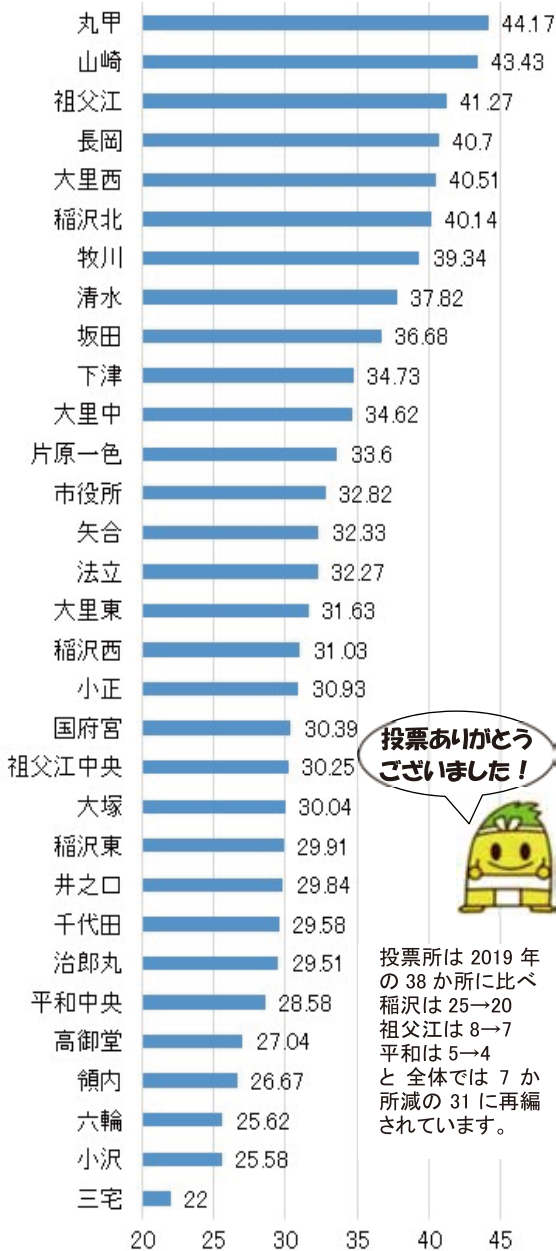


■稲沢市議会議員選挙投票率（投票所別、投票率順、期日前含まず）

2011年の市議選では投票率が56.80%と60%を割り込みましたが、低落傾向は止まらずに前回2019年の51.06%から今回は4.95ポイントも低い46.11%と大きく50%を割り込みました。

24日投票日当日の投票所における投票率は6.33%減の32.19%、期日前投票率は13.92%(前回+1.38)です。期日前を含まない投票所別では、祖父江地区の丸甲、山崎、祖父江、長岡が1~4位と上位を占め、稲沢北は6位でした。



投票ありがとうございました！

投票所は2019年の38か所に比べ稲沢は25→20、祖父江は8→7、平和は5→4と全体では7か所減の31に再編されています。

長年稲沢市の発展にご尽力頂いた**出口勝実議員、服部猛議員、長屋宗正議員、網倉信太郎議員、東野靖道議員、加藤孝秋議員、大津丈敏議員**、(順不同)の皆様が勇退されました。また激戦の祖父江では現職仲間の**富田和音議員**が当選に届きませんでした。

皆様のご功績に敬意と感謝を表すると共に今後とも大所高所からのご指導を宜しくお願い申し上げます。



鈴木純事務所 稲沢市稲島 10-82

■稲沢市議会の新しい会派等

議長：六鹿順二氏(小正5期) 副議長：津田敏樹氏(祖父江3期)
議会選出監査委員：志智 央氏(祖父江3期) (以下、敬称略、順不同10月3日現在)

創生会 (14名)	会長六鹿順二⑤ 木村喜信⑤ 副会長吉川隆之④ 幹事長服部礼美香③ 津田敏樹③ 近藤治夫② 会計黒田哲生② 北村太郎② 平野賀洋子② 杉山太希② 平床健一② 土岐優子① 鶴野大助① 大野紀之①
市民クラブ (5名)	幹事長星野俊次⑥ 会長木全信明④ 志智 央③ 会計岡野次男② 鈴木純子① ※:連合愛知政策推進議員
公明党稲沢市議団(2)	団長朽本敏子⑥ 会計日比野貴子①
日本共産党稲沢市議会議員団(2)	団長曾我部博隆⑤ 会計服部俊夫①
無会派(3名)	(参政党)小柳彩子① (日本維新の会)平野康弘① 山田崇夫①



鈴木市議

●日越外交関係樹立50周年記念式典・祝賀会



記念講演された徳川家広(公財)徳川記念財団理事長ご夫妻と

日越外交関係樹立50周年記念式典へ愛知県議会日越議員連盟副会長及びあいち民主県議団団長として出席しました。県内ベトナム人はブラジル人の6万人に次ぐ5万人で、またベトナムへの進出企業の10%は愛知県の企業で未来へ向け互恵的な関係を築きます。

●宮田用水土地改良区臨時総代会



臨時総代会で開会の辞を述べる副理事長鈴木

副理事長を務める宮田用水土地改良区の臨時総代会が開催され、岩田理事急逝に伴う理事の補欠選任、令和4年度事業報告・収支決算書などの承認、令和5年度一般会計収支補正予算についての3議案を可決して頂きました。一昨年度に対して地籍64万㎡、組合員139人の減少です。

●稲沢夏まつり‘やろまい会’&清水建設八三会



SUZUKI

稲沢夏まつりが天候が心配されましたが花火打ち上げ、後片付けまでなんとか…本部の皆さんは豪雨のなか引続きの活動、ボランティアの皆さんに感謝です。

1983年清水建設入社の際設計の集まり‘八三会’で久しぶりに仲間に再会！



SUZUKI

STEP21

TEL 24-6600 FAX 23-0791

愛知県議会報告

あいち民主県議団

J-PRESS

責任者:鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

愛知県議会報告はあいち民主県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

あいち100万人 シェイクアウト達成！

関東大震災100年

■稲沢市議会議員選挙執行！



●選挙戦では大きな声や交通渋滞などご迷惑をおかけしました。

県と稲沢市の総合防災訓練で初めて導入したシェイクアウト訓練(姿勢を低く・頭を守り・じっとする)に120万人の登録を頂きました！

9月17日告示、24日に執行された市議会議員選挙には、現職18人、新人12人(後継候補は4人)の30人が立候補しましたが**投票率は46.11%と前回より4.95ポイント下落**し大きく50%を割り込みました。

当選者は現職17人、新人9人(内後継は4人)と前回の新人7人(内後継4人)より多く入れ替り若返りました。

政党別では公明・共産がともに2人、維新・参政党とともに1人で稲沢市では初めて日本維新の会、参政党の議員が誕生しました。

当選ラインは前回(8人)より多い10人が2,000票を超える中、最下位当選が約1,000票と前回の約1,400票から大きく下がりました。地区別では**稲沢市民センター地区が現職1・新人3の4人と2増**、小正2人、下津3人、明治3人(1増)、千代田1人、大里西2人、大里東2人(1減)、**祖父江支所8人(1増、新人3)**、平和支所1人(2減)で定数の26人となります。新人候補が多数出馬した稲沢や候補者10人が戦った祖父江では現職が落選するなど厳しい選挙戦でした。

明治約1万3千人

- ⑦杉山太希2期
- ⑧日比野貴子1期(公明)
- ②③平床健一2期

稲沢約2万5千人

- ⑥山田崇夫1期
- ①⑥鶴野大助1期
- ①⑦木全信明4期
- ②⑤鈴木純子1期

小正約2万2千人

- ③星野俊次6期
- ④⑥六鹿順二5期



木全市議



星野市議

岡野市議

下津約1万1千人

- ④大野紀之1期
- ⑨朽本敏子6期(公明)
- ⑩岡野次男2期

大里東約1万1千人

- ⑫近藤治夫2期
- ⑭服部俊夫1期(共産)

大里西約1万2千人

- ⑮北村太郎2期
- ⑮木村喜信5期

平和約1万3千人

- ②平野賀洋子2期

千代田約8千人

- ⑤服部礼美香3期

※上図の地域割り等はご参考程度に、○内の数字は当選順、敬称略。写真は改選前市民クラブ所属で当選された皆さんです。

STEP21

愛知県議会議員
(稲沢市選出)

SUZUKI

すずき

純





■愛知県議会令和5年9月定例会 230917～231019

9月定例会開会初日提出の総額 158 億 2,200 万円の一般会計の補正予算には 6 月 2 日の大雨で被災した農業者の支援に 5 億円、県文化施設の活性化を図るための基本計画の策定に 0.35 億円、技能五輪全国大会・全国アビリンピックの 3 年連続開催に向けた取組に 0.13 億円、休み方改革を全国に発信し日本全体の観光需要の平準化促進に 0.19 億円、将来を担う人材の育成を図るための実習設備の整備に 0.6 億円(全額中京競馬開設 70 周年を記念しての名古屋競馬(株)からの寄付)、交通死亡事故抑止に向けた交通安全対策の推進 1.1 億円などが計上され、財源には国庫支出金 54 億円、県債 95 億円などが当てられました。条例関係ではあいち森と緑づくり条例の 5 年間の延長、合理的配慮の定義の明確化等のために障害者差別解消推進条例等の一部改正、多頭飼養の届け出制度を創設する動物の愛護及び管理に関する条例の一部改正などが上程され可決されました。

■県民環境委員会県外調査

委員会で広島県を訪れました。広島県庁では 2021 年 6 月に海洋プラスチックごみゼロ宣言を行い、企業・団体等をメンバーとする GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム(GSHIP)を設立しての取組や、「きれいな海」から「豊かな海」を目指した栄養塩類対策について調査し、GSHIP の参加企業では、従来廃棄されていたサトウキビの搾りかす(バガス)を有効活用したバガスモールド等の環境配慮の商品開発やプラットフォームの有効性・必要性を伺いました。

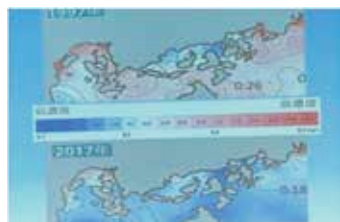
三次市では 1991 年に日本初の地中熱エネルギーシステムを導入し地中熱利用のパイオニアとして活動している企業より日本での導入が遅れている現状など意見交換したほか、リニューアルオープンした広島市現代美術館も訪問しました。

広島平和記念資料館では施設概要等について説明聴取しましたが外国の方の増加や滞在時間も長く覧頂いているとのことでした。平和の尊さ、戦争をしないさせない、被ばく国としての使命、被ばく国国民としてやらなければならないことを改めて重く受け止めました。

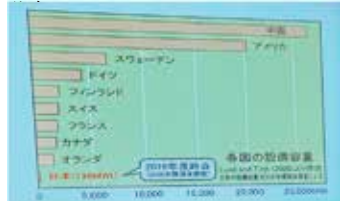
■稲沢市から愛知県要望



稲沢市から愛知県への要望活動が行われ地元議員として出席しました。重点要望の祖父江稲沢線の森上工区(南大通線の西進へ日光川・名鉄尾西線部分)、三宅川の整備(白山橋の改築、正楽橋上流部の改修)、福田川の整備(遊水地の増設、東源寺杵の全面撤去に向けた下流部の改修)のほか鈴木からは稲沢西春線や国府宮駅周辺の街づくりについてなども要望させて頂きました。



20 年できれいになり過ぎた窒素濃度



世界の地中熱普及状況



バガスモールドでのお好み焼きもおいしく

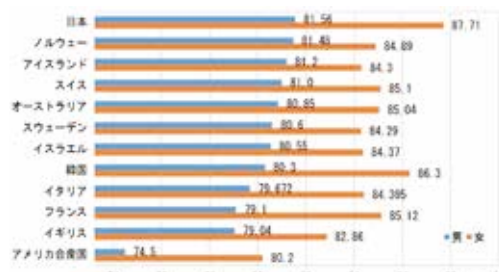


●被ばくによる白血病から 12 歳で亡くなった佐々木禎子さんをモデルとした「原爆の子の像」では小学生が千羽鶴を奉納し祈りを捧げていました。禎子さんが病床で折り続けた折り鶴などについて原爆投下から 80 年となる 2025 年にユネスコの「世界の記憶」に登録されることを目指しています。



■あいちレポート 2022 県政 150 周年特集号から②

【愛知の今と昔 4 医療・福祉から】



●平均寿命の国際比較

と延伸しています。厚労省の推計では、2040 年に 65 歳の男性の約 4 割が 90 歳まで、女性の約 2 割が 100 歳まで生存見込とされています。

公的扶助制度の歩み 生活保護の受給世帯数は 1990 年代半ばから増加し、現在は約 3 倍(約 6 万世帯)の状況です。

【愛知の今と昔 5 働き方から】



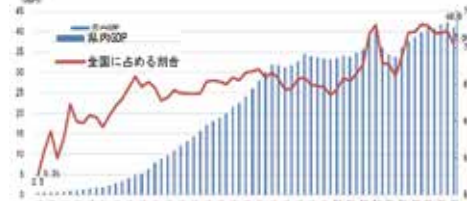
●1人平均月間実労働時間数及び所定外労働時間数の推移

本県の月当たり総実労働時間の推移では、1970 年は 191.6 時間、2020 年時点は 137.5 時間と 7 割程度まで減少しました。月当たり所定外労働時間では、1970 年は 19.5 時間、1990 年から 2000 年にかけて大きく減少、その後横ばいで推移し 2020 年は 11.3 時間です。

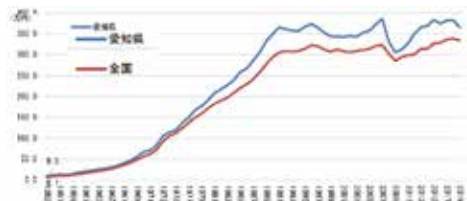
休暇 年次有給休暇は 2019 年から使用者の義務付がされましたが、本県の年次有給休暇取得率は 1985 年の 28.6%に対し 2022 年は 69.1%まで上昇しています。

このほか、働き方改革関連法や育児介護休業法等によるワーク・ライフ・バランスの推進など、労働環境の整備が進められています。

【愛知の今と昔 6 経済・産業から】



●本県の県内総生産(名目)及び県内総生産の全国に占める割合の推移

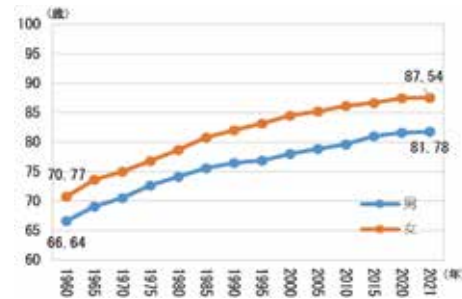


●一人当たり県民所得の推移(全国・愛知県)

農業 本県の農業産出額の推移では、1960 年が 591 億円、2021 年には 2,922 億円と約 4.9 倍に増加しています。品目別では、耕種農業の野菜と花きの増加が顕著で、特に花きはピーク時の 1999 年頃には 763 億円まで増加、本県の花き産出額は 1962 年以降全国第 1 位です。

人生 100 年時代の到来 日本人の平均寿命は、諸外国に比べて高く、第 1 回調査の 1891～1898 年(平均値)では、男性 42.8 歳、女性 44.3 歳と 40 歳台でしたが、2021 年では、男性 81.47 歳、女性 87.57 歳と男女とも 80 歳台超と延伸しています。

本県の平均寿命の推移では、1960 年は男性 66.64 歳、女性 70.77 歳、2021 年は男性 81.78 歳、女性 87.54 歳と、男性は約 15 歳、女性約 17 歳と延伸しています。

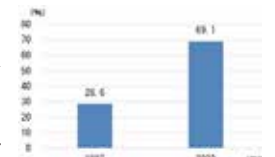


●愛知県の平均寿命の推移

労働時間 我が国最初の労働者保護の工場法(1911 年制定)では、最低入職年齢を 12 歳とし 15 歳未満の者及び女子は最長労働時間を 12 時間、深夜業禁止などとなっていました。

1947 年に労働基準法が制定され通常の労働時間制(1 日 8 時間、1 週 48 時間)等が決められ、1994 年から週 40 時間労働制を実施、2019 年の労働基準法の改正により働き方改革の一環として時間外労働の上限が初めて法律で規制されました。

本県の月当たり総実労働時間の推移では、1970 年は 191.6 時間、2020 年時点は 137.5 時間と 7 割程度まで減少しました。月当たり所定外労働時間では、1970 年は 19.5 時間、1990 年から 2000 年にかけて大きく減少、その後横ばいで推移し 2020 年は 11.3 時間です。



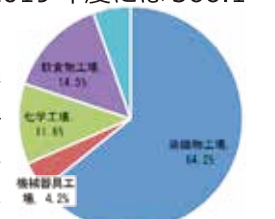
●年次有給取得率

県内総生産と一人当たり県民所得の推移 県内総生産(名目)の推移では、1955 年度が約 0.5 兆円、2019 年度には 40.9 兆円と増加しています。この間の全国に占める割合は、5.3%から 7.0% まで上昇しています。

一人当たり県民所得では、1955 年度が 9.3 万円、2019 年度には 366.1 万円に増加しており全国を上回っています。

モノづくり産業の変遷 本県では戦前から繊維産業が発展しており、特に織物産業は主要産業として本県経済を牽引していました。1906 年の工場統計表では、本県の工業品の総出荷額は 5,484 万円で大阪府、東京都に次ぐ全国 3 位となっていました。

戦後、我が国は高度経済成長期(1956～1972 年)、その後の安定成長期を迎える中、本県の製造品出荷額等は神奈川、大阪の伸びを上回り 1977 年に全国 1 位となり現在に至るまで 44 年連続で首位となっています。



●工業品出荷額(1906 年)



●農業産出額の推移



●耕種農業の産出額の推移